



6月16日、日銀・内田副総裁会見 重要発言とその真意

- ①「経済・物価・金融情勢に応じて引き続き政策金利を引き上げる」
 - ・今回の1.0%到達で利上げ終了ではない
- ②「経済が大きく下振れるリスクはひところよりも低下している」
 - ・利上げをしても景気が大きく崩れる状況ではないと判断
- ③「基調的な物価上昇率が2%の物価安定目標を超えて上振れていくリスクがある」
 - ・現在の日銀の最大の懸念は景気ではなくインフレ
- ④「企業間取引の価格転嫁がやや速いスピードで進んでいる」
 - ・原材料高を企業が吸収できなくなっている
- ⑤「円安が物価に及ぼす押し上げ効果が従来より大きくなっている」
 - ・為替は政策目標ではないが無視できない

投機筋の円売りポジションが増加中

- 4-5月の為替介入は6月利上げまでの「時間稼ぎ」だった
- 投機筋はじりじりと円売りポジションを積み上げる

